

早稲田大学 教育学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<一般・外国学生入試 学校教育専攻>

【専門科目】

●問題冊子 4ページ :設問Ⅲ(教育心理学)問題1 設問文

(誤)

以下の6題中・・・

(正)

以下の7題中・・・

●問題冊子 4ページ :設問Ⅲ(教育心理学)問題2 <B群>設問文

(誤)

以下の12項目(1)～(14)・・・

(正)

以下の14項目(1)～(14)・・・

以上

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

解答上の注意

1. 学校教育専攻の入学試験問題は、出願時に届け出た研究指導・指導教員の専門分野により下記の表のように分かれています。「志願票に記入した研究指導名」にしたがって指定された「解答すべき設問」を解答しなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき設問
教育学研究指導	藤井 千春	設問Ⅰ (教育学)
教育史研究指導	三上 敦史	
教育哲学研究指導	坂倉 裕治	
教育内容・方法研究指導	根津 朋実	
学校経営学研究指導	菊地 栄治	
教育工学研究指導	三尾 忠男	
教育社会学研究指導	吉田 文	設問Ⅱ (教育社会学・ 社会教育学)
社会教育学研究指導	小林 敦子	
社会教育学研究指導	坂内 夏子	
社会教育学研究指導	矢口 徹也	
生涯教育学研究指導	濱中 淳子	
発達・教育心理学研究指導	上淵 寿	設問Ⅲ (教育心理学)
臨床心理学研究指導	堀 正士	
教育評価・測定研究指導	椎名 乾平	
障害・神経心理学研究指導	坂爪 一幸	
学校心理学研究指導	本田 恵子	
特別支援教育学研究指導	梅永 雄二	
社会心理学研究指導	安達 智子	
初等教育学研究指導	河村 茂雄	設問Ⅳ (初等教育学)
初等教育学研究指導	佐藤 隆之	
初等教育学研究指導	大泉 義一	
初等教育学研究指導	佐藤 寛之	

2. 「解答すべき設問」以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「設問番号」(例:「Ⅰ」・「Ⅳ」など)と「問題番号」(設問Ⅰ・Ⅲ・Ⅳでは「1」「2A」「2B」、設問Ⅱでは「1」「2」「3または4」)を必ず記入すること。また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」(設問Ⅰ・Ⅲ・Ⅳでは「1」「2A」「2B」、設問Ⅱでは「1」「2」「3または4」)別に使用すること(一つの問題で一枚使用)。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「5枚」(本ページ含む)、解答用紙は「3枚」です。必ず枚数を確認すること。

以上

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

[専門科目]

【学校教育専攻】

設問Ⅱ(教育社会学・社会教育学)

問題1 以下の5題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) 教育社会学における「教育機会の不平等」とは、どのような状態をいうのかを定義しなさい。そして、教育機会の不平等は、結果として何をもたらし、どのような社会状況が生じるのかを論理的に考察しなさい。
- (2) 現在の大学教育改革のキーワードのひとつに「質保証」が挙げられる。①質保証が求められるようになった背景、②質保証をめぐる改革に内在する問題、の2点について、それぞれ複数の観点から論述しなさい。
- (3) 日本におけるリカレント教育とリスクニングとの関係について論述しなさい。
- (4) コミュニティスクールの現代的意義、現状、課題について述べ、合わせて、生涯学習社会の実現という観点から総合的に論じなさい。
- (5) 今後も起きるであろう災害に対して、「誰ひとり置き去りにしない」ために社会教育では何が必要か、どのようなことができるか、これまでの取り組みをふりかえりながら論述しなさい。

問題2 以下の5項目(1)～(5)中、2項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 小野梓 (2) UNICEF (3) 社会化 (4) 学級崩壊 (5) 四書五経

以下、出願時に「吉田文」または「濱中淳子」を指導教員とした志願者は 問題 3 を、出願時に「矢口徹也」または「小林敦子」または「坂内夏子」を指導教員とした志願者は 問題 4 を解答しなさい。

問題3 次のような調査のしかたにはどのような問題があるか、3つそれぞれについて、すべて答えなさい(吉田文・濱中淳子を指導教員とした志願者用)。

※解答にあたっては、「問題番号」の欄に「3」と明記し、(1)、(2)、(3)と記してから始めること。

- (1) 環境問題を取り上げたテレビの討論番組において、市民の意見の分布を議論の中で参考にしてもらうために、同時進行で視聴者に質問し、インターネットを通じ回答してもらった。
- (2) W大学出身の女子がどのような働き方をしているのか、その特徴を明らかにするため、25～60歳のW大学女子卒業生3000人にアンケート調査を行った。
- (3) いじめに関する経験が人間関係への向き合い方にどのような影響を与えるのかについて、先行研究を超える緻密な分析を行うため、いじめならびに人間関係への向き合い方に関する豊富な項目を含めたアンケート調査を作成し、A市の中から無作為に抽出した3000人に調査票を郵送した。

問題4 以下の11項目(1)～(11)中、6項目を選び、解説しなさい(矢口徹也・小林敦子・坂内夏子を指導教員とした志願者用)。

※解説にあたっては、「問題番号」の欄に「4」と明記し、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 自主夜間中学 (2) 若者支援 (3) ジェンダー格差
(4) 高齢者大学 (5) 手習塾 (6) 社区大学
(7) 公共図書館 (8) 地域学校協働活動 (9) 教育訓練給付制度
(10) 家庭教育振興ニ関スル件(1930年) (11) コーヒーハウス(17～18世紀、イギリス)

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問Ⅲ（教育心理学）

問題1 以下の6題中、1課題を選び、論述しなさい。

※ 論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) 2E (Twice-exceptional) 教育とはどのような教育かを説明し、なぜ2E教育が必要かについて述べなさい。
- (2) リストカットを行う心理的背景について説明した上で、「切らない約束」をすることの問題点について論じなさい。
- (3) グループダイナミクスが意思決定にどのように影響するかを解説し、公正な意思決定が行われるために必要な要素について、個人内、グループに分けて説明しなさい。
- (4) 神経発達症（発達障害）の高次脳機能の特徴を主な診断名（種類）別にまとめて論述しなさい。
- (5) チー (Chi, M. T. H.) の、学びの深さに関するICAPモデルについて論述しなさい。
- (6) 心理尺度を用いるときの留意点について述べなさい。
- (7) 職務満足の規定要因について動機づけ要因と衛生要因の違いを踏まえながら論述しなさい。

問題2 A群、B群の項目について、それぞれの指示に従って、解説しなさい。

<A群> 以下の5項目(1)～(5)中、2項目を選び、解説しなさい。

※ 解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 小野梓 (2) UNICEF (3) 社会化 (4) 学級崩壊 (5) 四書五経

<B群> 以下の12項目(1)～(14)中、6項目を選び、解説しなさい。

※ 解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) ワークライフバランス (2) EAP (3) パブロフ型高次条件づけ (4) ブロードマンの脳地図
(5) ハイダーのバランス理論 (6) ソーンダイクの問題箱 (7) マインドセット (8) メタ情動 (meta-emotion)
(9) 持続性複雑死別障害 (10) 広場恐怖症 (11) 発見学習 (12) 対人距離
(13) 暴露反応妨害法 (14) UDL (Universal Design for Learning)





